

2020年1月1日～2021年12月31日の間に 当科において蜂窩織炎または帯状疱疹で入院治療を行った方及びご 家族の方へ

「蜂窩織炎/帯状疱疹入院患者における偽痛風発症頻度、要因、メカニズムの解析」 のご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学皮膚科学	准教授	山本 剛伸
研究分担者	川崎医科大学皮膚科学	講師	杉山 聖子
	川崎医科大学皮膚科学	講師	深松 紘子
	川崎医科大学皮膚科学	臨床助教	浦上 揚介
	川崎医科大学皮膚科学	臨床助教	青木 彩加
	川崎医科大学皮膚科学	臨床助教	藤田 壮
	川崎医科大学皮膚科学	臨床助教	奥村 健悟

1. 研究の概要

蜂窩織炎で入院治療中に偽痛風を発症する例があります。症例報告で数件の論文が存在するが、偽痛風を発症する頻度、要因、メカニズムは全く不明である。

本施設において蜂窩織炎で入院治療した患者のうち、偽痛風を発症した例を検討し、発症率、発症要因の解析を行います。入院期間、患者層が近似している帯状疱疹患者を比較するコントロールとして同時に解析します。本研究で蜂窩織炎と偽痛風の関係を確認することにより、今後の治療において、偽痛風発症予防などにつながるようになることが考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年1月1日から2021年12月31日の間に蜂窩織炎または帯状疱疹で入院治療を行った方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において入院治療を行った蜂窩織炎、帯状疱疹の患者を対象とします。

診療録より入院中に偽痛風を発症した患者を抽出し、蜂窩織炎、帯状疱疹治療中に併発した偽痛風の割合を算定します。偽痛風発症群、非発症群でそれぞれの内容を比較検討し、偽痛風発症要因を検討します。

4) 使用する情報

情報：年齢、性別、発症部位、入院後から発症までの期間、治療内容(投与薬)、発熱の有無、入院時から血液データの経過、入院前と入院中の日常生活動作(ADL)の状況

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学皮膚科学、川崎医科大学総合医療センター皮膚科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年9月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院または、総合医療センター皮膚科

氏名：山本 剛伸

電話：086-462-1111、086-225-2111(平日：9時00分～17時00分)

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。